

2021年度 メリー★ポピンズ kids北朝霞ルーム 事業計画書

1 基本方針

「にんげん力。育てます。」の法人理念に則り、子どもが自分の感情や意思を持ち、やりたいことを自分で決められる、「保育者主導型」ではない「子ども主体」の保育を実践する。全職員が子どもの最善の利益を念頭におき、子どもにとって必要な体験とは何かを追求し、活動を選択し、自分で考え行動する思考を育てる。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

子どもの意欲や主体性が育めるよう、保育者が一方的に働きかけるのではなく、子どもの自発的な活動としての遊びなどを通して、様々な学びが積み重ねられるようにする。また保育者一人ひとりが、子どもの発達の特性とその道筋を十分に理解し、一人ひとりの発達過程に応じて見通しを持って保育を行う。9時散歩出発を通して、園外においてTrial&Errorを多く経験し、ヒト・モノ・コト・環境に対して、子どもの関わる力を育てていく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

専門知識を持った保育者が、保護者と連携をとって、その子らしい発達を踏まえ一緒に育てていくことを大切にしていく。そのための支援として、保護者が子育てにおいて自分で解決していくための方法を導きだせるようサポートし、保護者の自己決定を支えていくことが大切である。保護者が子育てに対する喜びや充実感を感じられるように、私たち保育者は子育てに関する知識や技術を生かし、支援できるようにしていかなければならない。また、個別面談や保育参加を積極的に受け入れ、保護者のニーズを汲み取り、保護者の立場に立った対応を行っていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

まずは青空保育や園開放に、多くの保護者が足を運んでもらえるよう、ポスターやわかりやすい告知を行い、イベントの内容も気軽に参加できるものと考えていく必要がある。利用者を増やしていくことで、地域の保護者同士のつながりを持てるようにし、不安を抱え孤立しがちな保護者への支援とつなげていく。同時に園が地域の拠点となり、様々な専門知識はもちろん、地域の方からも支援してもらえような、交流拠点としての機能を果たせるように努めていくことで、選ばれる施設となる。

〈4〉 次世代を担う職員育成

保育所保育指針を再度読みほどこき、乳幼児期の保育が生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期だということを保育者はきちんと認識する。園という大きなお家での子どものTrial&Errorを見逃さず、子どもが兄弟姉妹のように生活する中で相互に学び合う保育を実践できるよう全職員が同じ目線で保育にあたる。また子どもの主体性と関わる力を十分に発揮できるよう保育者は子どもの姿を捉え、その可能性を信じて援助し続ける。この保育内容について共通

理解を深められるよう、話し合い、考え、挑戦できる職員となる。ポートフォリオの記録を通して、子どもの発達欲求を理解し、環境を整えていく。それに基づき、丁寧で受容的で応答的な保育を行い、常に子どもを真ん中において捉え、気持ちをどう満たしてあげられるのかということを考えられる職員を育成する。

〈5〉 保育の質の向上

保育所保育指針の総則に「職務を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない」と掲げられている通り、保育の専門性を高め、質の向上につなげる。

子どもの姿から、「今、この子は何を願っているのか」「困っていることは何か」「保育者・環境との関わりの中で、今、この子の何が育っているのか」を常に読み取り、保育を省察する。そしてそれをもとに保育を改善できる、力量の高い保育者を目指す。具体的な方法として、子どもたちの活動を映像・画像・テキストを用いて記録に残し、エピソードの蓄積を行う。その記録を保護者、地域へと公開することで内容の充実を図る。

〈6〉 環境構成

子どもが多くのTrial&Errorを経験できる環境を整えるため、ハザードマップの充実、ヒヤリハット・インシデントの分析等、危機管理をしっかりと行う。内部監査チェック項目を理解し、子どもの安全を守りながら保育環境の見直しを常に行っていく。室内環境においても整理整頓された気持ちの良い環境と、子どもにとって必要なものは揃え子ども自らの意思で 사용할ことができる環境構成を行う。子どもの発達に応じた保育室内の構成と保護者の立場にたった環境整備を並行して取り組む。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	10人	12人	12人	12人	62人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	10人	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	1人
パート職員	8人	保育士	8人	補助	0人	事務	1人	調理	0人
		用務	1人						
嘱託職員	0人	嘱託医	2人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

5 運営方針

運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	行動計画の成果発表・行動計画の決定、共有
給食運営会議	月1回	・食育計画策定・食育活動実施内容・喫食状況確認 ・検食簿指摘事項改善・アレルギー対応などの確認
ケース会議	月1回	・要支援児個別計画の振り返りおよび省察 ・要支援児個別計画の見直し
事故防止委員会	月1回	・自園ヒヤリハット・インシデント分析 ・自園および系列園で起きた事故のケーススタディと改善策策定 ・全園事故防止委員会での内容共有
担任週会議	随時	・保育計画の立案における話し合い

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	行動計画の成果発表・行動計画の決定、共有
施設長勉強会	月1回	園運営にかかる相互学習や検討
食育会議	年4回	給食提供および食育・献立にかかる検討、各種マニュアル等改訂
保健会議	年4回	園全体の保健にかかる検討、各種マニュアル等の改訂

〈1〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の衛生管理や備品等の管理
安全対策係	ヒヤリハット、インシデントの分析、安全な環境の整備
防火管理者	避難訓練の立案・実施・設備の防火管理
食品衛生責任者	食品の品質管理・食育会議の立案
畑係	年間農業計画の遂行や畑の管理
環境係	物的環境・人的環境について討議、改善

〈2〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
朝霞市民まつり 彩夏祭	地域活動の一環として有志の保護者の補助・衣装管理

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい環境に少しずつ慣れ、特定の保育者に見守られながら情緒の安定を目指し、基本的な生活習慣の体得を図る ● 一人ひとりの発達に適した環境を整え、多角的、的確に子どもを捉えた保育を行う
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動量や活動範囲、成長に適した環境を整え、活動や食事、睡眠などに配慮していく ● 探索活動が盛んに行えるような環境設定を考慮し、子どもたちがいきいきと遊びを楽しめるようにする
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの社会性、主体性、意欲を培うために保育者がすべきことを常に考え、捉えた保育を心がける ● 子どもたちが自ら気づき、感じ、考えて行動することの楽しさを味わえるような環境や機会を保育者が仕掛けていく
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ● 上半期で培ってきたことを自信に感じながら自分よりも年下の友だちに対する思いやりをもって関わられるようにしていく ● 年少児が年長児への憧れや期待感を抱きながら意欲的に行動できるような環境設定や異年齢保育を行う
保育参加	4～3月	● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時、希望する保護者に対し実施 ● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	● 6月と11月に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- 家庭との連携を図りながら、保育者・栄養士等の職員が専門性を活かし、共に食を営む力の基礎を作る。子どもの口腔発達に配慮し、食材の味が吸い取れるように食事の提供をする。
- 畑仕事や食育活動を通して、食材や食の循環・環境への意識を身に付けていく。
- 食事への意欲を高められるように、子どもが自分で盛付・配膳して食べる。
- 「食べたい時に食べたい場所で食べたいものを食べたい人と食べたいだけ」食べる食育を行い。心もお腹も満たされる食事環境を目指す。

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）

保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い・うがい指導 歯みがき指導
流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 6~8月頃...手足口病・ヘルパンギーナ・アデノウイルス 11~3月頃...インフルエンザ・胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	ダイアップ・・・預かりなし。
エピペン使用できる職員	本日現在9名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員1名については5月園会議までに受講予定。
AED使用できる職員（AED設置施設のみ）	本日現在17名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員1名については5月園会議までに受講予定。
その他保健に関する取組	薄着の励行、爪チェック、保育園感染症サーベイランス 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

- ・様々なことに挑戦できるように、1日2回の散歩を基本とし想定外の事象に出会えるようにする。そこで経験した、喜びや葛藤を共感し合っていく。子どもの主体性を大切に、見守り保育を実践し、何事も自分たちで解決できるような援助をしていく。
- ・異年齢保育の中で、関わる力と社会性を育むとともに、グループを作り想像したものを創造する力を育てていく。連続性のある保育を通して、試行錯誤を継続し経験できるようにする。
- ・室内環境においても整理整頓された気持ちの良い環境と、子どもにとって必要なものは揃え子ども自らの意思で使用することができる環境構成を行う。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 防災…危機管理マニュアルに則り、消防計画、避難訓練、避難訓練快哉通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの整備、自衛消防組織と安全対策の設置、緊急地震速報運用を行い、災害時には対応フローチャートに従う
- ② ケガ事故防止…危機管理マニュアルのケガ事故防止策・安全点検と保全に則り、事故防止チェックおよび設備点検チェックの実施、安全教育、SIDS防止策を行い、ケガ発生時には対応フローチャートに従う
- ③ 防犯…危機管理マニュアルの不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行い、不審者侵入時にはフローチャートに従う
- ④ 光化学スモッグ…危機管理マニュアルの光化学スモッグに則り、光化学スモッグの知識を身につけ、注意報発令の把握を行いながら、発生時には光化学スモッグ発生時対応および行政連絡に従って対応する

8 実習生・中高生の受入

地域におけるボランティアの養成とともに、次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために、園では実習生・研修生を積極的に受け入れる。

- ・中高生の体験学習
- ・保育養成校の学生の実習
- ・一般および学生の各種ボランティア

9 職員育成と研修計画

新人研修

新人社員研修

スタッフ研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修



←避難訓練研修

- 新入社員研修
→ 会場研修
→ 系列園保育実地研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② マニュアル確認	・法人マニュアルの理解・確認を行い、基本に沿った対応ができるようにする
5月21日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ハザードマップ検討	・園舎内外、散歩ルート、公園のハザードマップを見直す。子どもの姿を共有しながら、具体的な危険箇所を挙げていく。
6月18日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② リスクマネジメント	・水あそびのリスクを全員で考え、意識を統一する。また事故発生時の予測も兼ね、ロールプレイを行い適切な対応を身につける。
7月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② アレルギー対応・エピペン講習	・アレルギー食の提供手順などを振り返り、マニュアルに基づき確認する。エピペン講習会を同時に行う。
8月20日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修	・写真を用いて子どもの姿・保育者の目線を捉える
9月17日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修	・事例検討会(エピソードを持ち寄り、子どもの姿、職員の関わりを語る)
10月15日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修	・事例検討会(エピソードを持ち寄り、子どもの姿、職員の関わりを語る。人権について考える。)
11月19日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ハザードマップ検討	・園舎内外、散歩ルート、公園のハザードマップを見直す 子どもの姿を共有しながら、具体的な危険箇所を挙げていく
12月17日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 嘔吐処理確認	・おむつ替え・嘔吐処理などのロールプレイを行い、手順を確認し、感染症拡大を防ぐ
1月21日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育の振り返り	・次年度に向け、子どもの育ちや日頃の関わりについて語る
2月	19:00~20:00	① 今年度振り返り ② 次年度園目標決め	・今年度を振り返り、次年度の目標を決定する

3月	19:00～20:00	① 次年度計画	・園目標や全体的な計画をもとに、次年度の計画を立案・決定する
----	-------------	---------	--------------------------------

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
5/28 (金)	18:30-20:00	水の事故	仲町どろんこ	0円	0円
7/23 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム①	ふじみ野どろんこ	0円	0円
9/22 (水)	18:30-20:00	性教育	朝霞どろんこ	0円	0円
9/28 (火)	18:00-19:00	「子どもの認めてほしいという気持ちを満たす」～ふれあい遊び～	kids 朝霞ルーム	0円	0円
11/20 (土)	10:00-11:00	感染症と歯科について知ろう	志木どろんこ	0円	0円
11/27 (土)	10:00-11:30	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続～1年生のスタートカリキュラム～	志木駅前ルーム	0円	0円
1/21 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム②	朝霞どろんこ	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (保育の質会議)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた19名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デモンストレーション	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

地域の様々な人・場所・機関などと連携を図りながら、地域に開かれた園として、地域の子育て力の向上に貢献していく。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：北割公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	・老人施設訪問 ・中高生の体験学習受け入れ
異年齢交流	・他園との交流
地域拠点活動	・寺尾屋、自然食堂、芸術学校 ・青空保育 ・一時保育
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

11 小学校との連携の計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月より開始する。

- ・小学校との交流活動(保育園行事等の案内状の送付、小学校見学、小学校公開授業、運動会未就学児種目への参加)
- ・教職員の交流活動(幼保小連絡協議会への参加)
- ・小学校への接続（保育所児童保育要録送付・園児情報の申し送り面談の依頼、実施・スタートカリキュラムの確認)
- ・全体的な計画おおむね6歳編成の工夫
- ・卒園児台帳の作成

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名(会場)	内容
9月頃	朝霞第七小学校	12名予定	運動会见学(朝霞第七小学校庭)	見学
10月頃	朝霞第五小学校	62名予定	運動会(朝霞第五小学校庭)	子ども間交流
11月頃	朝霞第七小学校	12名予定	学校見学(朝霞第五小)	見学
1月頃	朝霞第七小学校 1年	12名予定	授業参観(朝霞第五小)	職員間交流

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

子どもの状況に応じた保育を行う観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための個別支援計画を作成する。

【毎月のケース会議開催】 4～3月に計12回開催予定 参加者：5名予定
計画・実施状況・結果等の振り返りを行い、個別支援計画の赤入れ等も行う。

【進級引継、および、小学校への引継】

進級引継ぎは書面を用いて子どもの様子を共有する。

小学校の引継ぎは児童要録、また各校の担当教員により行う。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂...親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：北割公園にて開催

14 福祉サービス第三者評価の受審

受審なし。

15 園による自己評価の実施

2021年9月17日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：16時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、各リーダー、栄養士

16 メリー★ポピンズ kids北朝霞ルーム3か年計画の具体化

2021年 子どもの姿から発達要求を捉え、適切な環境を構成する

・一人ひとりの子どもがそれぞれに力を発揮できるような環境や援助を考え、同時に自発的・意

欲的に関われる環境を構成する。多くのTrial&Errorを経験できるよう、子ども一人一人を大切にグループごとの活動を行い、子どもの関わる力を育てる。子どもの発達を全職員が同じ目線で理解し、チーム保育の中でインクルーシブ保育の実践につなげる。

2022年 子どもの可能性を伸ばし、“遊びが学び”の保育を展開していく

- ・子どもが子どもらしく育つ場所となり、兄弟姉妹のように過ごす中で関わる力、社会性を身につけていけるよう保育を展開していく。子ども同士の中で経験を重ねることで子ども自身が自然と学んでいけるよう援助していく。本物体験を重ね、異年齢での関わりの中で、自ら考え、判断し、行動するといった主体性を大切に、“遊びが学び”の経験を得られるようにする。

2023年 地域に開かれた子育て支援拠点となる

- ・園が地域の拠点となり、子育ての様々な問題に関わり支援できる施設となる。園の職員のみならず、地域の高齢者や専門機関などとも関係を築き、地域全体での子育て力の向上を図るべく交流拠点として機能できる園となる。

以上

作成日：2021年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ kids 北朝霞ルーム 施設長 柳 あすか